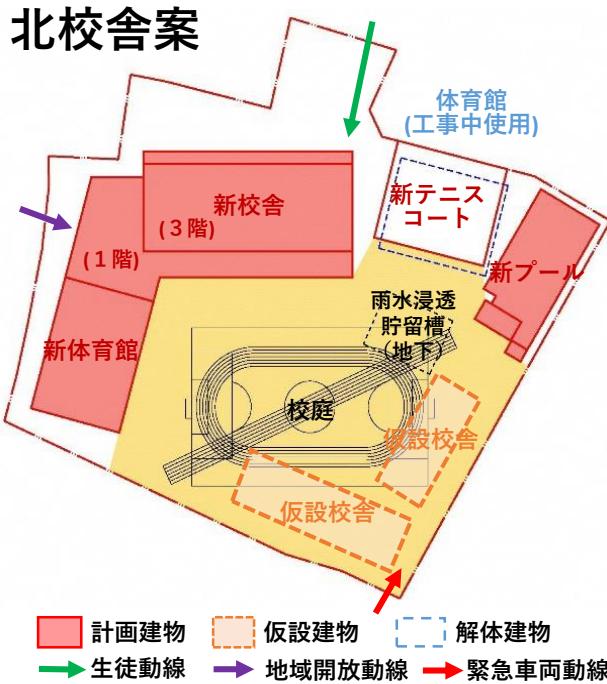


武蔵野市立第五中学校配置計画案②

※新校舎と新体育館のおおむねの配置を検討する資料です。令和3年度に着手する基本設計の中で、新プールや新テニスコートなどの付属施設の配置や新校舎・新体育館の形状の変更、新校舎・新体育館の位置の調整が発生する場合があります。



北校舎案

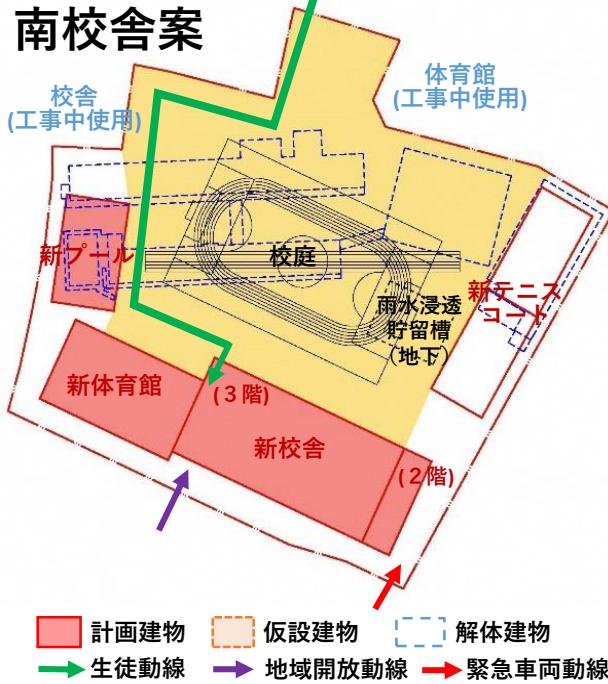


■ 計画建物 ■ 仮設建物 ■ 解体建物
 → 生徒動線 → 地域開放動線 → 緊急車両動線

■ プランの特徴

既存の配置に最も近いプランであるが、日影規制により、建物北側が階段状になる。既存の正門からアプローチ。仮設校舎が必要なため、工期が長くなる。

南校舎案

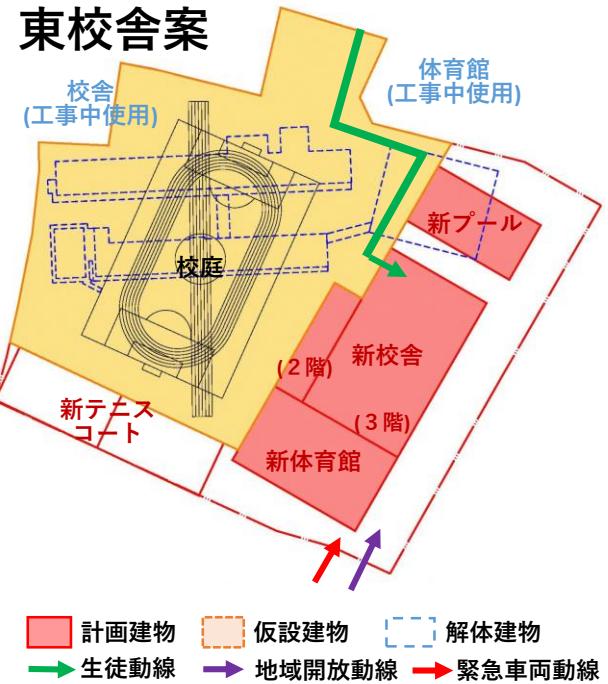


■ 計画建物 ■ 仮設建物 ■ 解体建物
 → 生徒動線 → 地域開放動線 → 緊急車両動線

■ プランの特徴

既存の校舎・体育館を利用しながら、南側に新校舎・新体育館を配置するプラン。校庭に多少校舎の影がおちるが、最も校庭が広く、影の影響のない範囲でトラックなどを整備可能。生徒と開放用のアプローチを北と南に分けられるが、既存の正門から校舎までの距離が長くなるため、設計時にアプローチを工夫する。北側への騒音、砂埃対策として、緩衝緑地の整備を検討。

東校舎案

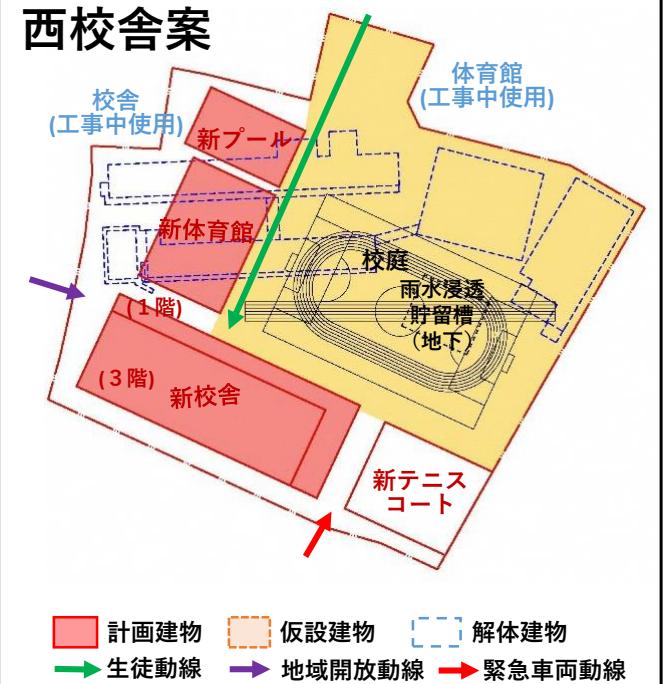


■ 計画建物 ■ 仮設建物 ■ 解体建物
 → 生徒動線 → 地域開放動線 → 緊急車両動線

■ プランの特徴

既存の校舎・体育館を利用しながら、東側に新校舎・新体育館を配置するプラン。午前中、校庭に校舎の影がおちる。生徒と開放用のアプローチを分けられる。東側へ日影、圧迫感などの影響が懸念される。北側への騒音、砂埃対策として、緩衝緑地の整備を検討。

西校舎案



■ 計画建物 ■ 仮設建物 ■ 解体建物
 → 生徒動線 → 地域開放動線 → 緊急車両動線

■ プランの特徴

既存の校舎・体育館を利用しながら、西側に新校舎を配置するプラン。夕方、校庭に校舎の影がおちる。生徒と開放用のアプローチを分けられるが、既存の正門から校舎が遠くなるため、設計時に工夫する。北側への騒音、砂埃対策として、緩衝緑地の整備を検討。既存校舎解体後に新体育館を建設するため、工事完了が遅くなる。

仮設校舎	あり
アプローチ	既存と同じ
ゾーニング	プールと体育館が離れる
校庭	既存と同等
教室採光	北・南
雨水浸透貯留槽	既存を利用できる
周辺への影響	現在とほぼ同じ
周辺環境	現在とほぼ同じ
工事中の校庭	比較的確保できる
小中共用時の校庭	比較的確保できる
小中共用時の体育館	新・旧体育館を使い分け
工事中のプール	利用できる
建設廃材	+ 仮設の基礎

仮設校舎	なし
アプローチ	既存正門からやや遠くなる
ゾーニング	プールと体育館が一体
校庭	既存より広い、多少の影
教室採光	北・南
雨水浸透貯留槽	既存を利用できる
周辺への影響	東側に多少の日影・圧迫感、北側へ騒音・砂埃⇒緩衝緑地
周辺環境	井ノ頭通り（騒音・排ガス）、境浄水場
工事中の校庭	狭い
小中共用時の校庭	比較的確保できる、五小広場設置可能
小中共用時の体育館	新・旧体育館を使い分け
工事中のプール	利用できる
建設廃材	増なし

仮設校舎	なし
アプローチ	既存とほぼ同じ
ゾーニング	プールと体育館が離れる
校庭	既存より広い、午前中影
教室採光	東・西
雨水浸透貯留槽	再整備が必要
周辺への影響	東側に日影・圧迫感・視線、北側へ騒音・砂埃⇒緩衝緑地
周辺環境	東側マンションからの視線
工事中の校庭	比較的確保できる
小中共用時の校庭	比較的確保できる、五小広場設置可能
小中共用時の体育館	新・旧体育館を使い分け
工事中のプール	利用できない
建設廃材	+ 雨水浸透貯留槽

仮設校舎	なし
アプローチ	既存正門からやや遠くなる
ゾーニング	プール、体育館が一体
校庭	既存より広い、夕方多少の影
教室採光	北・南
雨水浸透貯留槽	既存を利用できる
周辺への影響	西側に多少の日影、北側へ騒音・砂埃⇒緩衝緑地
周辺環境	井ノ頭通り（騒音・排ガス）、境浄水場
工事中の校庭	比較的確保できるが不整形
小中共用時の校庭	比較的確保できる、五小広場設置可能
小中共用時の体育館	既存体育館を共用
工事中のプール	利用できる
建設廃材	増なし